



地域デザイン会議 各区の取組(令和6年度)

麻生区

「新百合ヶ丘の“これからのまちづくり”を考えるワークショップ」

- 「新百合ヶ丘駅周辺地区まちづくり方針(案)」を基に、新百合ヶ丘の「これからのまちづくり」を考えるためのワークショップをまちづくり局と連携し開催
- まちの将来像である「多様な人々が集うまち」に向けて、新百合ヶ丘駅北側のまちづくり・公共施設における課題について意見交換



多摩区

「地域活動マッチングイベント 地域のつながり! たまたまみっけ!」

- 車座集会から生まれた好事例の横展開を目指し、「つながりの希薄化」を課題に設定
- 参加者の「地域で何か始めたい」という想いの後押しに向けて、有識者による講演や地域活動の事例紹介を実施。有識者、地域活動実践者、最近活動を始めた人、まだ始めていない人による意見交換を実施



中原区

「みんなで考える自転車マナー」

- 中原区は、近年、自転車関係事故件数が増加傾向にあり、県の自転車交通事故多発地域にも指定されていることから、自転車の交通マナーアップに向けた啓発等についてワークショップ形式で意見交換を実施
- 今後、アイデアの具体化に向けて、検討・調整を進める



幸区

「『かこさとし』さんと区のつながりを活用したまちづくりの推進」

- 地域の魅力発信に向けて、「地域のこどもが生き生きとするために自分たちでできること」などについて意見交換
- 参加者からの意見を基に、生誕100周年イベントの具体的内容や、区の新なる魅力発信に向けた取組の検討を進める



宮前区

「エンディングノートにとどまらない終活を地域のみんで考えよう」

- 急速な高齢化の進展への対応が課題であることから、充実したセカンドライフを送るために重要といわれる「終活」をテーマに選定
- 元気で楽しく宮前区に住み続けてもらうために、何から取り組むべきか、また、自分の将来のこと、地域のことを考えてもらうにはどうしたらよいかなどについて議論



高津区

「橋出張所に生まれるコミュニティスペースの使い方を考えよう」

- 出張所の課題である「身近な活動の場」や「地域の居場所」としての活用に向けて、橋地区在住の区民や団体関係者等がコミュニティスペースの使い方について意見交換
- 実際に地域で暮らす人々の生きた声・アイデアを基に、「地域に開かれた拠点」に向けたプランの具体化を推進



川崎区

「快適な待ち時間の過ごし方を考える」「自転車事故防止と防災を考える」

- 改定する総合計画に区民の意見を反映させるため、地域課題対応事業に関連する分野からテーマを設定
- 参加者からの意見を「総合計画に反映させるもの」「短期的に取り組むもの」等に整理した上で、具体化に向けた取組を検討する



自分たちが住む地域のこれからを一緒に考える

地域デザイン会議



- 「かこさとし」と区のつながりを活用したまちづくりの推進
- みんなで考える自転車マナー
- エンディングノートにとどまらない終活を地域のみんで考えよう
- 出張所に生まれるコミュニティスペースの使い方を考えよう
- 快適な待ち時間の過ごし方を考える 自転車事故防止と防災を考える
- 「これからのまちづくり」を考えるワークショップ
- 地域活動マッチングイベント 地域のつながり! たまたまみっけ!

地域デザイン会議とは

地域デザイン会議は、
区民のみなさんが参加し、地域のことを話し合い、
地域課題の解決につなげていくためのものです。

地域をみんなでつくっていくという
思いを込めて、「地域デザイン会議」という名称にしました。



- Q** どんな人が参加するの?

A テーマに関連する地域団体や企業などに声かけをしたり、公募や無作為抽出を採用したりするなど、さまざまな方々に参加を呼びかけます。
- Q** テーマはどうやって決めるの?

A 区役所が、地域との対話などを通じて把握した地域課題のうち、区民のみなさんとともに課題解決に向けて話し合う必要があるものをテーマに設定します。
- Q** いつ、どこで開催するの?

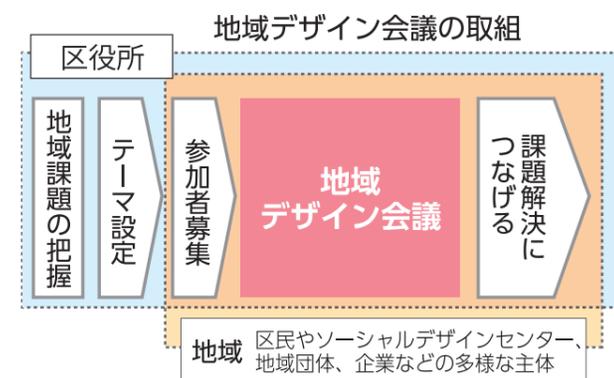
A 区民のみなさんの参加機会を広げるため、テーマやメンバーに応じて、平日夜間や休日、集まりやすい場所での開催など、時期や場所を工夫して開催します。
- Q** どうやって課題解決に取り組むの?

A 地域デザイン会議で地域課題をどのように解決していくかを話し合い、区役所だけでなくソーシャルデザインセンター*など地域のさまざまな方々と連携して課題解決に取り組みます。

*ソーシャルデザインセンター 地域課題の解決に向けて、市民主体の運営を目指しながら、多様なつながりを創出し、活動する場

地域デザイン会議の進め方

- 区役所が、把握している地域課題に基づきテーマを設定し、テーマに適した参加者により、地域デザイン会議を開催します。
- 地域デザイン会議で地域課題の解決策を話し合い、課題解決につなげていきます。



問い合わせ先	電話	メール	内容
市民文化局 コミュニティ推進部 区政推進課	044-200-2459	25kusei@city.kawasaki.jp	制度全般について
川崎区役所 まちづくり推進部 企画課	044-201-3267	61kikaku@city.kawasaki.jp	各区の取組全般について
幸区役所 まちづくり推進部 企画課	044-556-6612	63kikaku@city.kawasaki.jp	
中原区役所 まちづくり推進部 企画課	044-744-3149	65kikaku@city.kawasaki.jp	
高津区役所 まちづくり推進部 企画課	044-861-3131	67kikaku@city.kawasaki.jp	
宮前区役所 まちづくり推進部 企画課	044-856-3133	69kikaku@city.kawasaki.jp	
多摩区役所 まちづくり推進部 企画課	044-935-3147	71kikaku@city.kawasaki.jp	
麻生区役所 まちづくり推進部 企画課	044-965-5112	73kikaku@city.kawasaki.jp	

地域デザイン会議について

●地域デザイン会議概要

- 参加と協働による区における課題の解決を目的として、区民の主体的な参加により意見交換・議論を行います。
- テーマに応じて、弾力的に運用できる柔軟かつ、より多くの区民が参加できるしくみとして、区役所が主催します。

1 より多くの区民が関わり参加しやすい機会の拡充を図ります

- 効果的に意見交換を進め、具体的な課題解決につなげるため、設定したテーマや開催方法に応じたメンバーを募集します。
- 若い世代や新たな人材の参加しやすい環境を創出するため、平日夜間や休日開催・集まりやすい場所での開催など、場所や時期を工夫します。
- 幅広い区民層が参加するように積極的な広報を行うとともに、テーマに応じた無作為抽出の採用、既存会議体や地域団体・企業等との連携などに取り組みます。



「持続可能な公園の維持管理と活用」をテーマに公園で意見交換



オンライン会議システムを活用し、平日夜間、若者世代を中心に開催



テーマに応じて無作為抽出を採用し、幅広い区民層に参加を呼びかけ

2 テーマに応じて、その都度、弾力的に運用できる柔軟なしくみとします

- テーマや会議の目的等に応じ、また「参加と協働」という制度の趣旨を踏まえ、開催方法を柔軟に選択します。
- 区役所は、地域との様々な対話や意見聴取の機会を通じて区民視点による地域課題の把握に努め、区民の参加と協働により課題解決に向けた取組を進める必要があるものをテーマとして設定します。
- 開催回数については、社会情勢の変化等に応じて、柔軟に設定・変更等ができるものとします。



地域デザイン会議での話し合いを基にイベントを企画し、フィールドで実践



既存の会議と合同開催し、すでに活動がされている方と幅広い世代の参加者が課題解決に向けて意見交換

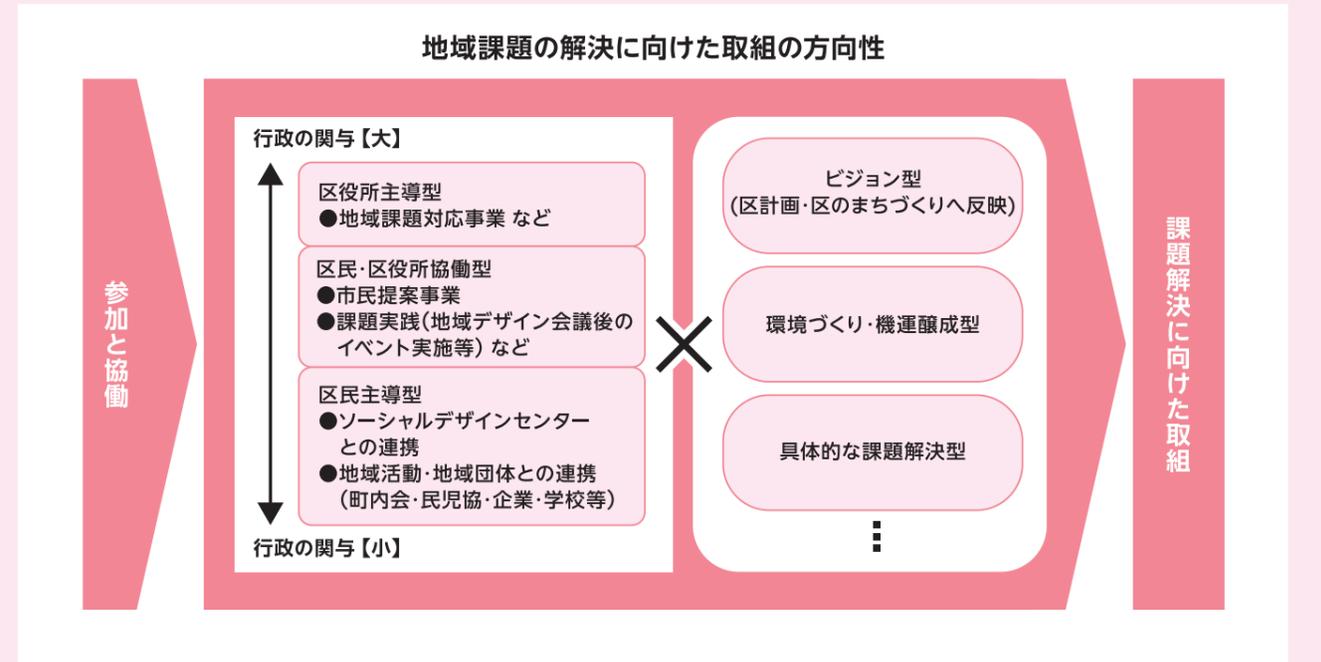
川崎市地域デザイン会議運営指針について もっと詳しく知りたい方は「川崎市地域デザイン会議運営指針」▼

令和3～5年の試行実施の取組を検証し、区民の参加機会の更なる拡充と地域課題の解決に向けた取組を推進していくため、地域デザイン会議の具体的な運営方法を示すものとして策定(令和6年5月)



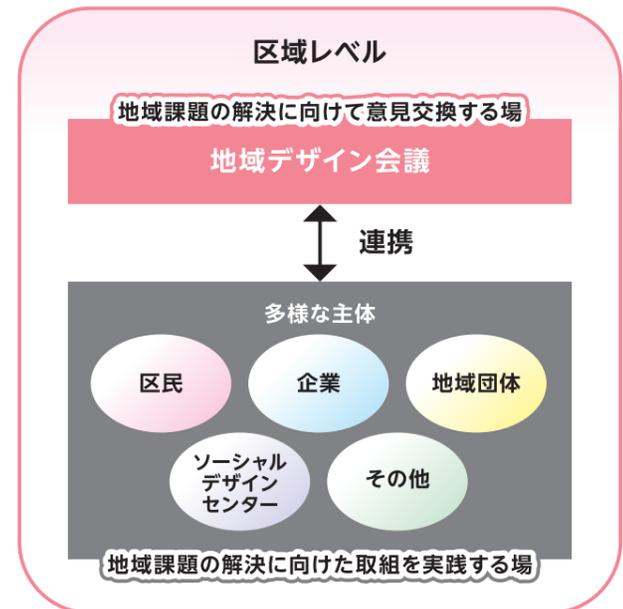
3 地域コミュニティにおける支え合う関係づくりと市民創発型の課題解決につなげていきます

- 区役所は、テーマに応じた取組の方向性を設定し、短期及び中長期の進め方*を参加者と共有しながら、課題解決に向けた取組につなげていきます。
*「ビジョン型」、「環境づくり・機運醸成型」、「具体的な課題解決型」など
- 「区役所主導型」、「区民・区役所協働型」、「区民主導型」など、庁内外の地域資源やリソースを最大限に生かすしくみを活用し、課題解決に向けた取組につなげていきます。
- 地域デザイン会議の取組内容や今後の方向性などを公開し、取組に関するプロセスの見える化を進めます。



コミュニティ施策における位置付け

- 川崎市では、「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」に基づき、コミュニティ施策を推進しています。
- 「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」や関連する施策において、**地域デザイン会議**は、区役所がテーマを設定するなど、**区役所主体による運営と区民の主体的な参加**のもと、**意見交換・議論を行い、地域課題の解決につなげていくもの**として、区域レベルのしくみに位置付けられています。
- 区役所主体で運営する地域デザイン会議と、区ごとに市民主体で運営するソーシャルデザインセンターや地域団体、企業などの多様な主体が連携し、地域課題解決に向けた取組を進めています。



もっと詳しく知りたい方は「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」▶

